

第2回浜松市立北部中学校運営協議会

令和5年11月20日(月)

14:00～ 会議室

校訓 「切磋琢磨 文武両道」
学校教育目標 「自分自身を『かけがえのない存在』であると思える生徒の育成」
目指す学校像 「あいさつができ、元気にあふれ、規律のある学校」

開会 開催要件（委員の過半数の出席）確認 <司会： 、記録： >

1 会長あいさつ

2 校長あいさつ

3 議長の選出（出席した委員の中から互選）

4 前回会議録確認

5 熟議 <議長： >

（1）生徒の実態とキャリア教育の在り方

・生徒の様子について

・キャリア教育について

・北部中のキャリア教育について

6 報告

7 今後の予定と連絡

11/20(月)	第2回運営推進協議会 14:00～
11/27(月)	夢講演会 13:20～(予定)
2/7(水)	第3回運営推進協議会 14:00～(予定)
3/18(火)	卒業式



令和5年度 第1回 北部中学校運営協議会 会議録

1. 開催日時 令和5年5月11日(木)14時00分から16時00分
2. 開催場所 北部中学校 会議室
3. 出席委員 平間 一彦 遠藤 喜和 小林 宏彰
佐野 孝輔 高木早由里
4. 欠席委員 谷口 幸子
5. 学校支援コーディネーター 渡邊 薫
6. 学校 佐野 政光(校長) 村松 還(教頭) 茂 一美(CS担当職員)
平松 光宏(生徒指導主事) 鈴木 千佳(CSディレクター)
7. 教育委員会 清水 悠(教育総務課)
8. 傍聴者 なし
9. 協議事項
 - (1)会長の選出および副会長の指名について
 - (2)議長の選出について
 - (3)今年度の学校経営方針について
 - (4)いじめ防止等のための基本的な方針について
 - (5)夢育やらまいか事業に対する意見書について
10. 会議録作成者 鈴木 千佳(CSディレクター)
11. 会議記録
 - ・司会の教頭より委員総数6人のうち5人の出席があり過半数に達しているため、会議は成立している旨の報告があった。
 - ・初めに校長より挨拶があり、続いて新規委員の任命が行われ、出席者が自己紹介を行った。
 - ・教育委員会から学校運営協議会規則(第3・5・10・11条)について説明があった。
 - ・熟議に先立ち、委員の方々に授業・校内風景をご参観いただいた。
 - (1) 会長の選出および副会長の指名について
司会の教頭から会長の選出について意見を求めたところ、平間委員より自薦があり、全員異議なくこれを承認した。
またその後、会長に選出された平間委員から佐野委員を副会長に指名する旨の報告があった。
 - (2) 議長の選出について
司会から議長の選出について意見を求めたところ、平間委員より自薦があり、全員異議なくこれを承認した。
 - (3) 今年度の学校経営方針について
議長の指示により、校長から別紙資料に基づき今年度の学校経営方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。
 - ・以前にはマスコミ報道などにより一部保護者の行動や行為が問題になったことがあったが、大人は簡単に変わることができない。そこで大切なのは子供への教育であり、柔軟性のある子供たちをよい方向へ変えることによって、親が変わるケースもあるのでは、と思う。(平間委員)
 - ・以前に比べ学校全体が落ち着いてきたのは、時代ということもあるが、発達支援教育がうまくいっているからでは、と思う。北部中の発達支援教育の様子はどのようなようであるか？(遠藤委員)
→発達支援学級・通常学級問わず、職員が生徒一人一人に対し、その子のニーズに合わせて柔軟に対応を変えることでとてもうまく機能している。本校に限らず浜松市全体がそうなのではないか。子供たちは安心して学校に来てくれているのではないかと感じている。(校長)

- ・自尊感情を大切にしながら大人になることがキャリア教育につながると思う。(遠藤委員)
- ・自分を大事にすることが大事。日々の教育の中で子供一人一人の存在価値を認め、声掛けをすることが大事。その中でCSとしてできることがあればやっていきたい。(佐野委員)
- ・ここ数年はコロナ禍で行事中止や変更が多かった。今年度は保護者も行事参加ができるようになり、また1からという思い。外部との交流によりグランドデザインの理想を実現できれば素晴らしい。(高木委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) いじめ防止等のための基本的な方針について

議長の指示により、生徒指導主事から別紙資料に基づきいじめ防止基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・いじめは生徒間に限らず、生徒から教師へのいじめもあるように思う。
先生が遠慮しすぎではないか。教師は畏敬の念を感じられる存在であることも必要では。
(平間委員)
→子供に限らないが、自分を理解してくれている人の言うことは聞くもので、そのようなアプローチをすることが大切だと思う。本校では子供の方から先生に相談することも多い。子供が気軽に声を掛けやすい環境を作るのが大切だと思う。(校長)

(5) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

教頭から別紙資料に基づき、夢育やらまいか事業の趣旨説明およびCS加算分に対する意見書について説明があった。委員から子供のキャリア教育に寄与するように使ってほしいとの意見が出た。

○その他の連絡事項

次回以降の学校運営協議会の開催日時と今後の学校行事予定の連絡があった。

○次回の開催日時

令和5年11月20日(月)14時00分から

中学生のみなさんへ

みなさんが、これからの社会の中で、自らの可能性を伸ばし、多様な人々と協働しながら、豊かな人生を切り拓き、よりよい地域・社会の創り手となっていくために、自分らしい生き方への実現に向け、以下の力をさらに伸ばしていくことを願っています。

《中学生活でさらに伸ばしてほしい4つの力》

<p>【人間関係形成・社会形成能力】</p> <p>多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力</p> <p>《例》 他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップなど</p>	<p>【自己理解・自己管理能力】</p> <p>自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会と相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力</p> <p>《例》 自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動など</p>
<p>【課題対応能力】</p> <p>仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる能力</p> <p>《例》 情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善など</p>	<p>【キャリアプランニング能力】</p> <p>「働くこと」を担う意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力</p> <p>《例》 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善など</p>

みなさんには、授業や学校行事、部活動などでの様々な体験や学びを通して、これらの力を伸ばし、自ら成長させることを意識してほしいと思います。

みなさんには、授業や学校行事、部活動などでの様々な体験や学びを通して、これらの力を伸ばし、自ら成長させることを意識してほしいと思います。

そして、この「キャリア・パスポート」で、中学生生活を振り返ったり見通したりしながら、学びの軌跡を記録し、積み重ねていくことが、みなさんの今後の人生を創っていくための「道しるべ」になることを願っています。

北部中学校のみなさんへ

毎日のように発表される新しい技術。そして、あふれる情報とそのグローバル化。また、それらを駆使した新しい生活のスタイル。現代社会の変化のスピードには目を見張るものがあります。そんな社会をこれから生きていくみなさんには、自らの可能性を伸ばし、多様な人々と協働しながら、よりよい地域・社会の創り手となることが求められています。では、そのためにはどんな力・態度を身に付けていけば良いのでしょうか。

北部中学校で卒業までに身に付けてほしい4つの力・態度

社会は、様々な役割をもった人々が、お互いに関わり合い、支え合うことで成り立っています。そして、学校も、一つの小さな社会と言えます。ですから、ここでの学びを将来みなさんが大きな社会に羽ばたいていったときの基盤としてほしいと思います。

以下に、みなさんにさらに伸ばしてほしい力・態度、そして、学年ごとの重点目標を示します。学校生活に関わる様々な場面で意識してください。

○支える力 (人間関係形成・社会形成能力)
他の個性を認め、積極的に支えようとする態度。

○認める力 (自己理解・自己管理能力)
自分の良さを認め、それを生かして自分の役割を果たそうとする態度。

○選ぶ力 (課題対応能力)
情報を取捨選択し、自分の課題解決に役立てる力。

○生かす力 (キャリアプランニング能力)
自分の学んだことや見聞したことを自分の人生設計や普段の生活に生かす力。

(学年ごとの目標)

- 1年 自分の良いところを見つけ、それを自分の役割に積極的に生かそう。
- 2年 自分の良いところを生かし、積極的に他を支えよう。
- 3年 支え支えられる関係を見つめ、将来の自分の姿を語ろう。

キャリア・パスポートを作成するねらい

上で示した力や態度は、日々の学校生活や地域での活動を通して、みなさんが自ら考え判断し、取捨選択や創造することを積み重ねることで培われるものです。そして、その積み重ねは、中学校3年間を連なっていくものです。しかし、ただ活動を行っていただけでは積み重ねることにはなりません。目標をもって活動に臨み、それを振り返ることで、さらになりたい自分を意識し、より明確な見通しをもって次の活動を行う。この繰り返しを行うことで積み重ねとなるのです。キャリア・パスポートは、その振り返りと見通しをもつことの手助けとなるものです。十分に活用してください。

4つの力・態度を身に付けた「かけがえのない存在」であるみなさんが、将来、自分らしく豊かな人生を歩んでいくことを願っています。

令和5年4月

北部中学校 校長 佐野 政光

キャリア教育

- 人が生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分との関係を見いだしていく連なりや積み重ねが、「キャリア」であるとされています。
- 一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育が「キャリア教育」です。

これは、文部科学省の「キャリア教育」に関するホームページの冒頭に記されているものです。もっとも端的に、「キャリア教育」の言葉の意味を説明しています。次に、本校のキャリア教育の捉え方です。

キャリア教育とは

●子どもはみんな、違うんだ

覚えておこう

子どもは、成長の設計図をもっている

子どもは、その子の速さで伸びる

子どもは、その子の時間で育つ

子どもは、その子の図案で実る

子どもは、その子の歩はばで学ぶ

子どもは、その子の資質で生きる

子どもは、その子の頭で考える

子どもは、その子自身の人生の約束を果たす

子どもは、みんな、違うんだ

子どもを励まそう

自分を大事にするように

人との違いを生かすように

全力でぶつかるように

よい実を結ぶように

愛の心を感じるように

この世の違いを認められるように

命を敬うように

確かな未来をつかむように

忘れないでほしい

その子はこの世に たった一人しかいないのだ

子どもは違う 一人ひとり、みんな違う

そんな子どもがいるから

この世にすばらしい 違いが生まれる

「フロンシーローナルト」

意識化する

大切なこと

見つける

人生の約束

幸せ
偽りのない自分
あこがれる生き方

見つける
自分のよさを **知る** **生かす**

成長の設計図



キャリア教育

自分を大事にするように

人との違いを生かすように

全力でぶつかるように

よい実を結ぶように

愛の心を感じるように

この世の違いを認められるように

命を敬うように

確かな未来をつかむように

大切なこと

キャリア教育

見方・考え方・感じ方の視野を広げ、身の回りのもの・こと・ひとの役割や立場を関連付けたり、価値づけたりすることを意識し、それらを適切に判断することによって、自分のよさ生かし、偽りのない自分で、自分を含めた誰もが幸せを感じられるようなあこがれる生き方を問い続けること

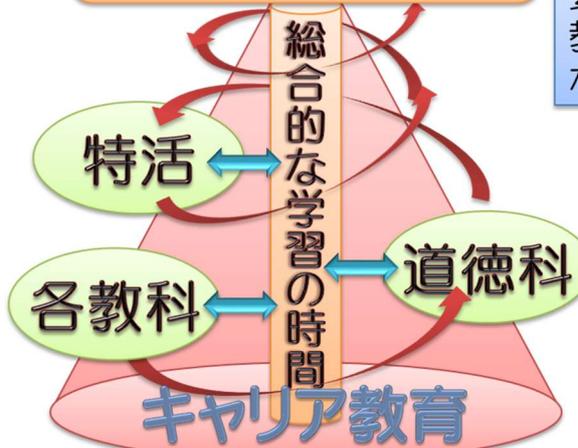
31

社会に開かれた教育課程

教科横断的なカリキュラム・マネジメント

管理職のみならず全ての教職員がその必要性を理解し、日々の授業等についても、教育課程全体の中での**位置付けを意識**しながら取り組む必要がある。

あこがれる生き方を
問い続ける人



各教科

見方や考え方を
広げる

道徳科

心を涵養

特活

“生き方”を
具現化

別冊で、文部科学省の「中学校キャリア教育の手引き」より、「キャリア教育の定義」の内容を用いました。参考にしてください。

学校運営協議会 年間計画

令和5年4月1日～令和6年3月31日

※ 委員の過半数の出席がないと開催できません。

※ 感染症の感染拡大防止等、状況により、開催が中止、あるいは延期になる場合があります。

回	日時 会場	主な内容 熟議のテーマ 等	備考
1	令和5年 5月11日 木曜日 14:00～16:00 会議室	熟議テーマ (1)学校運営の基本方針について 説明 ⇒ 質疑・応答、熟議 ⇒ 承認 (2)いじめ防止等のための基本方針について (3)夢育やらまいかCS加算分についての意見書について	
2	令和5年 11月20日 月曜日 14:00～16:00 会議室	熟議テーマ (1)生徒の実態とキャリア教育の在り方	
3	令和6年 2月7日 水曜日 14:00～16:00 会議室	熟議テーマ (1)学校関係者評価について 学校の自己評価(結果、分析・考察、改善方策等)の 説明 ⇒改善方策について熟議(この結果を学校関係者評価として提出)⇒協議会終了後、見直し⇒公表⇒次年度へ反映 (2)次年度学校運営の基本方針について 説明 (3)学校運営協議会の自己評価 <input type="checkbox"/> 夢育やらまいかCS加算分の報告	

第2回 学校運営協議会出席者

学校運営協議会委員

会長	ひらま かずひこ 平間 一彦
副会長	さの こうすけ 佐野 孝輔
委員	えんどう よしかず 遠藤 喜和
委員	こばやし ひろあき 小林 宏彰
委員	たにぐち さちこ 谷口 幸子
委員	たかぎ さゆり 高木 早由里

学校支援コーディネーター	わたなべ かおる 渡邊 薫
--------------	------------------

学校

校長	さの まさみつ 佐野 政光
教頭	むらまつ めぐる 村松 還
C S 担当教職員	しげ かずみ 茂 一美
C S ディレクター	すずき ちか 鈴木 千佳

浜松市教育委員会

教育総務課	すずき ようこ 鈴木 陽子
-------	------------------